



## 平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月10日

上場取引所 福

上場会社名 メディアファイブ株式会社  
 コード番号 3824 URL <http://www.media5.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 上野 英理也  
 (氏名) 吉行 亮二

TEL 092-762-0555

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	262	13.2	△0	—	△0	—	△4	—
25年5月期第1四半期	231	5.9	△3	—	△3	—	△4	—

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 △2百万円 (—%) 25年5月期第1四半期 △2百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
26年5月期第1四半期	△5.30	—	
25年5月期第1四半期	△5.28	—	

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
26年5月期第1四半期	439	312.09	265	207.79	60.1	312.09	312.09	
25年5月期	429	315.24	267	207.79	62.2	315.24	315.24	

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 264百万円 25年5月期 267百万円

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年5月期	—	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	456	△1.5	△9	—	△9	—	△11	—	△12.98
通期	1,002	4.2	21	△0.3	21	△0.2	18	4.8	21.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期1Q	893,600 株	25年5月期	893,600 株
② 期末自己株式数	26年5月期1Q	46,000 株	25年5月期	46,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期1Q	847,600 株	25年5月期1Q	847,600 株

当社は、平成25年6月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の積極的な経済・金融政策に対する期待感から市場が円安・株高基調に転ずるなど改善の兆しがみられました。しかしながら、市場の変動も含め、実体経済の先行きが見えない部分もあり、中国や新興国の景気減速の影響などから、依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する情報サービス業界は、ITサービスのクラウド化やスマートフォン・タブレットの情報端末の業務活用などIT投資に対するコスト削減の動きは続いているものの、経済政策・金融政策の効果が現れている業種・企業も増加しており、今後も緩やかな回復基調が継続するものと考えております。

このような環境の中、ソリューション事業B to Bソリューショングループは、福岡地区・東京地区の主要な取引企業を中心にITエンジニアの引き合いが増え、ITエンジニアの稼働率が向上いたしました。また、高度IT人材の人手不足が続くなか、一人月当たりの平均単価も上昇傾向で推移したため売上高が増加いたしました。

ソリューション事業B to Cソリューショングループは、ITエンジニアの稼働率の向上と営業の効率化を引き続き進めました。スクール事業は、本社において九州・福岡の若者を中心に当社独自のITエンジニア育成研修を継続して行い、ITエンジニアの正社員化を進め、各事業の拡大に向けて人材の輩出が進んでおります。

工事関連事業は、子会社の株式会社匠工房において、ビルの全館改装等の大型案件を受注できたことにより売上高が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高262,156千円（前年同四半期は231,485千円）、売上総利益86,158千円（同77,355千円）、営業損失261千円（同3,141千円）、経常損失697千円（同3,228千円）、四半期純損失4,493千円（同4,479千円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。）

#### ①ソリューション事業B to Bソリューショングループ

ソリューション事業B to Bソリューショングループにおいては、稼働者数131名からスタートし、当第1四半期連結累計期間末においては稼働者数が134名となりました。福岡地区の開発フェーズの案件が増えていることに加え、当社独自のITエンジニア育成研修（当社呼称：虎の穴研修）から輩出された人材が活用できる場面が増えており、稼働者数が増加いたしました。また、人材不足を背景に高度IT人材の一人月当たりの平均単価も上昇傾向にあり、売上高が増加いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は217,834千円（前年同四半期は194,551千円）、セグメント利益は46,449千円（同45,060千円）となりました。

#### ②ソリューション事業B to Cソリューショングループ

ソリューション事業B to Cソリューショングループにおいては、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年を下回りましたが、開発案件の提案件数・受注件数が増加していることに加え「OFFICE DOCTOR」や、サーバーホスティングサービス「データ預かり隊!」のようなライトなサービスの受注が増えており、新規顧客の開拓や当社のファン作りが進んでおります。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は9,480千円（同10,243千円）、セグメント損失は2,275千円（同1,589千円）となりました。

#### ③スクール事業

スクール事業においては、継続的に当社独自のITエンジニア育成研修（当社呼称：虎の穴研修）に力を注いでおります。形式的には人材育成の投資になりますので損失が計上されておりますが、人材不足が叫ばれるITエンジニアの増加施策としての役割は大きく、今後の各事業の拡大に貢献できるものと考えております。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高はなく（同2,380千円）、セグメント損失は6,608千円（同4,866千円）となりました。

#### ④工事関連事業

工事関連事業においては、福岡県の各種テナント・賃貸ビル等の内装工事・外装工事を中心に安定的に受注できております。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は35,102千円（同26,056千円）、セグメント利益は5,128千円（同2,188千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

(資産)

資産合計は439,797千円（前連結会計年度末は429,436千円）、うち流動資産370,140千円（同361,245千円）、固定資産69,656千円（同68,190千円）となりました。

その主な内訳は、流動資産については現金及び預金223,443千円（同224,747千円）、売掛金122,186千円（同116,146千円）等であります。固定資産については有形固定資産13,460千円（同14,149千円）、無形固定資産4,794千円（同5,348千円）、敷金及び保証金25,863千円（同26,003千円）等であります。

(負債)

負債合計は173,856千円（同162,241千円）、うち流動負債は135,864千円（同121,580千円）、固定負債は37,992千円（同40,660千円）となりました。

その主な内訳は、流動負債については買掛金20,086千円（同5,618千円）、未払費用25,256千円（同53,939千円）等であります。固定負債については長期借入金35,452千円（同39,118千円）等であります。

(純資産)

純資産合計は265,940千円（同267,195千円）、うち株主資本254,444千円（同258,937千円）、その他の包括利益累計額10,079千円（同8,257千円）、少数株主持分1,417千円（前連結会計年度末はなし）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年7月10日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社ダブルスキルを連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	224,747	223,443
売掛金	116,146	122,186
仕掛品	10,336	12,497
原材料及び貯蔵品	511	615
繰延税金資産	—	235
その他	9,995	11,681
貸倒引当金	△491	△519
流動資産合計	361,245	370,140
固定資産		
有形固定資産	14,149	13,460
無形固定資産	5,348	4,794
投資その他の資産		
敷金及び保証金	26,003	25,863
その他	22,689	25,538
投資その他の資産合計	48,693	51,401
固定資産合計	68,190	69,656
資産合計	429,436	439,797
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,618	20,086
1年内返済予定の長期借入金	14,664	14,664
未払法人税等	4,132	4,736
未払消費税等	11,961	9,449
賞与引当金	—	25,392
未払費用	53,939	25,256
繰延税金負債	30	—
その他	31,235	36,279
流動負債合計	121,580	135,864
固定負債		
長期借入金	39,118	35,452
繰延税金負債	1,542	2,540
固定負債合計	40,660	37,992
負債合計	162,241	173,856

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	175,825	175,825
資本剰余金	141,525	141,525
利益剰余金	△49,588	△54,082
自己株式	△8,823	△8,823
株主資本合計	258,937	254,444
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,257	10,079
その他の包括利益累計額合計	8,257	10,079
少数株主持分	—	1,417
純資産合計	267,195	265,940
負債純資産合計	429,436	439,797

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	231,485	262,156
売上原価	154,130	175,997
売上総利益	77,355	86,158
販売費及び一般管理費	80,496	86,420
営業損失(△)	△3,141	△261
営業外収益		
受取利息	1	4
雑収入	31	17
営業外収益合計	33	21
営業外費用		
支払利息	99	176
創立費償却	—	276
雑損失	20	4
営業外費用合計	120	457
経常損失(△)	△3,228	△697
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,228	△697
法人税、住民税及び事業税	1,673	4,145
法人税等調整額	△422	△265
法人税等合計	1,250	3,879
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,479	△4,576
少数株主損失(△)	—	△82
四半期純損失(△)	△4,479	△4,493



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,479	△4,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,054	1,822
その他の包括利益合計	2,054	1,822
四半期包括利益	△2,424	△2,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,424	△2,671
少数株主に係る四半期包括利益	—	△82

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。